

令和7年度第1回計画変更

(令和4年度着工)

草地畜産基盤整備事業(草地整備型)

道営草地整備事業  
変更計画概要書

中標津中部第2地区

北海道  
(根室振興局)

I 変更を必要とする内容及び理由	事業種	変更内容			変更の理由						
		地域	主要工事	事業費							
	区画整理	○		○	昨今の生産資材高騰等、農業情勢の変化により営農計画を見直したことによる総事業量・総事業費の減。						
1 地域											
	事業種	区分	現 計 画				変 更 計 画				変更の有無
		地目	田	畑		計	田	畑		計	
	区画整理			640.8		640.8		512.1		512.1	有
2 主要工事計画											
(1) 農業用排水施設(農業用排水路を除く)	事業種	区分	現 計 画				変 更 計 画				変更の有無
		項目	排水量	貯水量	取水量	受益面積	排水量	貯水量	取水量	受益面積	
		名称	(m3/s)	(千m3)	(m3/s)	(ha)	(m3/s)	(千m3)	(m3/s)	(ha)	

(2) 農業用排水路	事業種	区分	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無
		項目	延長 (m)	受益面積 (ha)	延長 (m)	受益面積 (ha)	
(3) 農業用排水路	事業種	区分	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無
		項目	延長 (m)	受益面積 (ha)	延長 (m)	受益面積 (ha)	
(4) 農業用道路	事業種	区分	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無
		路線名	延長 (m)	構造	延長 (m)	構造	
(5) 農地保全等施設	事業種	区分	現計画		計画変更		変更の有無
		名称	受益面積 (ha)		受益面積 (ha)		
(6) その他改良保全	事業種	工事種類	現計画		計画変更		変更の有無
			受益面積 (ha)		受益面積 (ha)		
	区画整理	草地整備改良 草地造成改良	636.8 4.0 640.8	509.3 2.8 512.1	有		
	受益戸数	36人	34人				

3 事業費						
事業種	区分	現計画 (千円)	変更計画 (千円)	増減 (千円)	増減の内訳 (千円)	変更の有無
区画整理		523,000	484,920	△ 38,080	自然増減 105,000	有
					工法変更	
					自然増減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
					自然増減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
					自然増減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
					自然増減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
計		523,000	484,920	△ 38,080	自然増減 105,000 工法変更 事業量変更 △ 143,080 その他	

II 変更後の概要							
1 目的 本地区は中標津町の北西部に位置し、冷涼かつ広大な土地基盤を活かして、草地型酪農を主体とする牛乳・乳製品の供給基地として重要な役割を果たしてきたが、様々な諸情勢の中で、国際化に対応した安全で高品質な牛乳を低コストで安定的に生産する体制の確立が急務となっている。 また、規模拡大の推進に当たっては、飼料基盤の整備が喫緊の課題となっているため、本事業により飼料生産基盤の整備、草地の有効利用、コスト低減に向けて飼料自給率の向上等を推進し、農家経営の安定を図る。							
2 地域の所在 標津郡中標津町							
(2) 地域の現況							
ア 地形		丘陵地					
イ 土質		火山性土 低地土					
ウ 土壌		厚層腐食質黒ボク土 中粗粒褐色低地土 表層腐食質黒ボク土					
エ 気象							
平均気温		5.8℃		かんがい期平均気温		14.4℃	
平均降水量		137.1mm		最深積雪深		111cm	
根雪期間		1月1日から3月14日		無霜期間		5月9日から10月30日	
オ 水利状況		各種補助事業により整備中であり、現在のところ地域で必要としている水量・水質とも問題はなく確保されることとなっている。					
カ 営農状況		本地区は、酪農を主体とする農業経営が行われている。					
キ 地域環境の概況		四季の自然と景観に恵まれ、山、川、森、平原を含む広い台地があり、市街地と農村地帯が一体化しているなど、自然と文化が相乗効果を生み出している。					
(3) 地積及び受益戸数							
区分		地目	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	受益戸数 (戸)
全体	現況			509.3	2.8	512.1	34
	計画			512.1		512.1	34
3 基本計画 (1) 事業計画内容 酪農家の生産基盤を整備することで、生産性の向上及び農作業の効率化を図り、農業経営の省力化、安定化を目指す。 (2) 環境との調和への配慮 整備にあたっては、施工時期及び施工方法の検討を行い、周辺の野生鳥獣や河川環境への影響を極力軽減・回避するように配慮する。							
4 工事又は管理の要領							
主要工事計画		事業種	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量及び事業内容		
		区画整理	34	512.1			
造成又は改良される施設の管理方法等		施設名	管理団体名		管理方法		
		該当なし					

換地計画の要領	5 (1) 換地計画樹立の必要性							
	(2) 換地計画樹立の基本方針							
	ア 従前の土地の地積の基準							
	イ 農用地集団の方法							
	換地区	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法					
			位置選択	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取り扱い			
	ウ 非農用地の換地方針							
	換地区	種類	非農用地区域の位置の概略	面積	換地の手法	換地取得予定者	その他	
				ha				
エ 清算の方法								
(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積								
換地区	機能交換に係る土地				一般公有地	合計		
	国有地	道有地	市町村有地	計				
	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
(4) 換地処分の特則に関する特則								
費用の概算	事業種	事業費	負担区分			工期	関連事業費	備考
		千円	国	道	その他			
	区画整理	484,920	242,460	121,230	121,230	令和4年～ 令和8年		
効用	(1) 事業効果							
	効果項目	食料の安定供給の確保に関する効果	農業の持続的発展に関する効果	農村の振興に関する効果	多面的機能の発揮に関する効果	その他	計(千円)	
	効果額	61,419				20,531	81,950	
	所得額	89,970					89,970	
	(2) 事業の効用							
	項目	事業種	区画整理					備考
	総便益額		1,694,814					
	総費用		490,269					
	総費用便益比		3.45					
	増加所得償還率		10.5					
他事業との関係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法					9 計画(変更)概要図		
	該当なし					別図のとおり		
	(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法					10 その他		
	該当なし							